



只見町総合防災訓練実施

大規模災害を想定し、より実践的な訓練を実施

南会津地方防災訓練



保健師による保健活動訓練



町民体育館には、新潟・福島豪雨災害時の只見町の様子が掲示され、災害の恐ろしさを再確認することができました

「南会津地方防災訓練・只見町総合防災訓練」（以下防災訓練）が、町下運動広場や町民体育館などを会場に、8月27日に実施されました。

今回の防災訓練は、只見町建設業協会、只見町消防団、只見区、三地区婦人会、電源開発株式会社田子倉電力所、南会津地方広域市町村圏組合消防本部、南会津警察署、陸上自衛隊郡山駐屯地東北方面特科連隊第3大隊などの団体が参加しました。豪雨による河川氾濫や床上浸水などの大規模災害が発生し、只見川沿いの堤防に取り残された人がいることや、各種ライフラインに被害が起きたことを想定し訓練を行いました。

災害対策本部の設置や避難広報、炊き出し訓練、ライフラインの復旧訓練などが行われました。また、近年の大規模災害を想定し大型土のう袋を使用した土のう積み訓練や、水利が近くに無い火災現場等を想定しミキサー車で給水を行う消火活動訓練が、只見町建設業協会と広域消防、只見町消防団の合同で行われ、より実践に近い訓練となりました。



▲只見川沿いの堤防に取り残された人の救助訓練



▲高所救助訓練にあたる消防士の皆さん



▲各地区婦人会や赤十字奉仕団、婦人消防隊などによる炊き出し訓練
炊飯には陸上自衛隊が所有する「野外炊飯1号」を使用



▲300リットルを供給できる給水タンクを使用した給水訓練
町には他に600リットル、2000リットルの給水タンクがあります



▲建設業協会と町消防団が連携し、大型土のう袋を使用した土のう積訓練



▲土のうを設置する消防団



▲消火用水をミキサー車から給水しながら行った消火訓練



▲消火訓練は、建設業協会、広域消防、消防団の合同で行われました

災害から自分や家族の身を守るために

前頁でご紹介したとおり、町では万が一の災害時に、住民の命や生活を守るための訓練を実施しています。しかし、災害による被害は年々広域的に大きくなり、救助の手が足りなくなる現場もあります。そのため、「まずは自分の身は自分で守ること」が重要です。避難場所や避難経路の確認、また避難時に持ち出すものの確認など、災害前の準備が大切です。一人一人が日ごろから災害を意識した行動を心がけることで、消防団や消防士、自衛隊員が、一人でも多くの方を助けることに繋がるかもしれません。

● 災害から自分や家族の身を守るために

避難場所や 避難経路の確認！

指定の避難所の他、親戚や知人宅も含め、いざという時にどこへ避難するのか、避難のための経路はどこを通るのが安全かを確認しましょう。



災害時に持ち出す ものを確認！

通帳やハンコといった貴重品の他、服用中の薬、衣類など、避難時に持ち出すものを家族みんなで確認しましょう。また、非常食は水や電気が使えなくても食べられる缶詰やレトルト食品がオススメです。

家族同士の安否確認 の方法を確認！

家族が別々の場所にいる際に被災しても安否が確認できるよう災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板などの使い方を確認しておきましょう。



● 警戒レベル5になる前に早目の避難を

令和3年5月に施行された「改正災害対策基本法」では、避難情報を5段階に整理しました。

警戒レベル5は、既に災害が発生している状況で避難が難しくなります。警戒レベル3や4の段階で避難しましょう。

警戒レベル	避難情報等	
5	<p>災害発生 又は切迫</p>	<p>きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保</p>
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
4	<p>災害の おそれ高い</p>	<p>ひなんしじ <b>避難指示</b></p>
3	<p>災害の おそれあり</p>	<p>こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b></p>
2	<p>気象状況悪化</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	<p>今後気象状況悪化のおそれ</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

### 警戒レベル5

警戒レベル5は、すでに安全な避難が出来ず、命が危険な状況です。警戒レベル5「緊急安全確保」が発令される前に避難をしてください。

※災害の状況が確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

### 警戒レベル4

災害のおそれが非常に高まっています。警戒レベル4「避難指示」で危険な場所から**全員避難**してください。



### 警戒レベル3

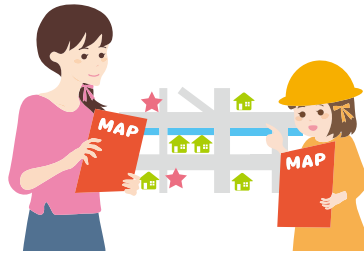
お年寄りの方や障がいのある方は、警戒レベル3「高齢者等避難」で安全な場所へ避難してください。

警戒レベル3は、高齢者以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

# 「只見町防災マップ」を活用しましょう！

町では、平成23年新潟・福島豪雨災害や令和元年東日本台風などの災害経験を基に「只見町防災マップ」を作成し、今年4月に全戸配布いたしました。


只見町防災マップには、浸水想定区域や土砂災害警戒区域などが示されたマップの他に、避難行動ガイド、防災情報の入手方法、各種災害の解説、非常時の持出品などが掲載されています。お住まいの集落の避難場所の確認や災害時にどのような行動をとるべきかなど、家族皆さんでご確認をお願いします。





## ● マイ避難ノートを作成しましょう

「マイ避難シート」は、家族構成や自宅周辺の災害リスクに合わせて、どのタイミングで、どのような行動が必要かを考え、家族で共有しておく避難計画です。只見町防災マップの4ページにあるマイ避難ノートを家族みんなで作成しましょう。

【記入例】

 <p>自宅の災害の危険性を ハザードマップで確認</p>	<p><b>浸水想定区域</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 洪水浸水想定区域</p> <p><input type="checkbox"/> 0.5m <input checked="" type="checkbox"/> 1.0m <input type="checkbox"/> 2.0m <input type="checkbox"/> 3.0m <input type="checkbox"/> 5.0m</p> <p><input type="checkbox"/> 該当しない</p>	<p><input type="checkbox"/> 3・4階</p> <p><input type="checkbox"/> 2階</p> <p><input type="checkbox"/> 1階</p> <p><input type="checkbox"/> 1階床下</p>	<p><b>5m～10m未満</b> (3階床上～4階軒下浸水)</p> <p><b>3m～5m未満</b> (2階床上～軒下浸水)</p> <p><b>0.5m～3m未満</b> (1階床上～軒下浸水)</p> <p><b>0.5m未満</b> (1階床下浸水)</p>
	<p><b>土砂災害の危険性</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域 <input type="checkbox"/> 土砂災害特別警戒区域 <input type="checkbox"/> なし</p>		

	今後気象状況 悪化のおそれ ☁	気象状況 悪化	災害のおそれあり ☁	災害のおそれ高い ☁	災害発生 または切迫
警戒 レベル	1	2	3	4	5
避難 情報	早期 注意情報 (気象庁)	大雨・洪水・ 高潮注意報 (気象庁)	高齢者等避難 	避難指示 	緊急全 確保
行動「誰が」「何を するか」	(父) テレビの天気予報を注意 (父) 家族全員の今後の予定を確認 (母) 防災グッズの準備 (母) 1週間分の薬を病院に受け取りに行く (私) テレビ、インターネット等で雨や川の 様子に注意 (父) ハザードマップで避難場所、避難手段を確認	など	(祖父母) ○○保健センターに、ヘルパーさんと車で 避難する。(15分) (私) 川の水位をインターネットで確認 テレビで洪水予報の確認	(私、父、母) ○○高校体育館に徒歩で避難する。 (20分)	「命を守る行動を」
		など	など	など	

※避難行動については「誰が」「どこに」「誰と」「どのように」避難するかを記入しましょう。

## ● 町のホームページで防災情報の確認をしましょう



QRコードを読み取ると町ホームページ災害情報用ページに移動します。また、下記URLからアクセスできます。

<https://www.town.tadami.lg.jp/emergency/index.html>